

# e-ラーニングでホームページ作成の知識や技術を習得。 同時通話システムでコミュニケーションを円滑に。



## 在宅雇用の経緯

頸椎損傷により受傷した郡智洋さんは、会社への通勤が難しく、就職に不安を持っていました。働くなら在宅雇用と考えていた郡さんに対し、在宅就業支援団体である恵佼会は、ホームページ作成などの技術を身につけられる重度身体障害者が在宅ワーク支援研修（以下「在宅ワーク支援研修」）を行うことを提案しました。そこで郡さんは在宅でe-ラーニング研修を受講し、HTML やスタイルシート、デザインや色づかいといった初歩的な技術を学習すると同時に、社会人に不可欠なメールや電話応対のマナーなども学びました。

研修の修了試験はホームページの制作で、技能評定を委託している東京の沖ワークウェルで評価を受けました。その際、スキルの習得状況を確認し、その後1年、自主学習を積み重ねることで初級システムアドミニストレータの資格を取得しました。スキルレベルが上がったことにより、沖ワークウェルでのトライアル雇用<sup>※</sup>が決定。本採用から1年半が経過した現在は、同時音声通話システム（ワークウェルコミュニケータ）や本社の様子がわかる Web カメラ映像などの活用で、在宅にいなながらも、リアルタイムに同僚とコミュニケーションがとれる環境で仕事をしています。

※障害者トライアル雇用事業：障害者を原則3カ月間、試用雇用（トライアル雇用）の形で受け入れていただき、本格的な障害者雇用に取り組むきっかけづくりを進める事業のこと

## Profile

### 支援団体

#### 社会福祉法人 恵佼会

- 所在地：宮崎県宮崎市祇園 1-50
- ☎ 0985 (31) 6441 FAX 0985 (32) 5029
- URL：<http://www.fukushi-net.com/>
- 在宅就業支援の利用者：10名（うち重度障害者9名）  
（内訳）身体障害者 …………… 9名  
精神障害者 …………… 1名

主にIT関係及び建築CAD作成などを行う身体障害者小規模通所授産施設として設立。平成18年9月に在宅就業支援団体に登録。平成19年4月からは就労移行支援事業所、就労継続支援事業所B型に移行し、ホームページ作成のほかデータ入力や印刷物の版下製作などを行う。在宅雇用を希望する障害のある方に対してはe-ラーニング形式のテキストを作成し、指導も行っている。

### 企業

#### 株式会社 沖ワークウェル

- 所在地：東京都港区芝浦 4-11-17
- ☎ 03 (5445) 6805 FAX 03 (3798) 7085
- URL：<http://www.okiworkwel.co.jp>
- 業種：ソフトウェア開発
- 事業内容：ホームページ制作

■従業員数 49人  
うち在宅雇用者数 …………… 33名  
うち障害者の在宅雇用者数 …… 32名

平成16年、OKIの特例子会社として発足。企業の社会的貢献という視点と能力のある障害者を活かすという視点から障害者の在宅雇用に着目した。在宅雇用への社会的な認知が低かった時代からの継続的な取り組みが実り、社員数を増やし生産性も向上している。

### 在宅雇用者

#### 郡 智洋さん

- 在住地：宮崎県在住
- 障害種別：身体障害（1級）
- 障害状況：頸椎損傷。車椅子を補助具として使用。普段の生活、仕事ともに介助の必要はなし。

16歳の時にスポーツ事故により頸椎を損傷。通常の会社勤務が困難なため、在宅雇用を希望していた。25歳の時に支援団体の研修を受講して、パソコンやホームページ作成の基礎知識を学ぶ。修了試験に関して企業側から客観的な評価を受けたことで課題点が明確になり、スキル向上のために必要な知識をその後1年間かけて独学で習得、初級システムアドミニストレータの資格を取得した。

## 支援団体

社会福祉法人  
恵佼会

## 支援内容紹介

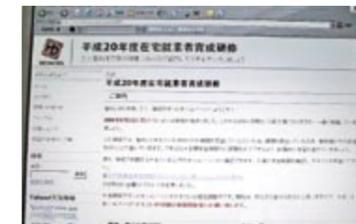
就職するために必要な知識をメールやFAXで添削指導。  
仕事継続への体力維持に向けて健康管理も支援。



管理者  
土肥 雅郎さん

## 在宅ワーク支援研修で 就職するために必要な知識とマナーを指導

四肢まひを抱えていた郡さんは通勤が困難であったため、働きたいという意欲がありながら、就職が難しい状況でした。「そこで雇用へのきっかけになればと思い、当施設が開催する在宅ワーク支援研修を受けてみるように勧めたのです」と以前から就職の相談を受けていた管理者の土肥さんは言います。郡さんは、移動が困難であったため、在宅による研修を実施。当初はテキスト本を使って指導していましたが、途中からe-ラーニングに変更し、ホームページ作成に必要なとされるHTML やスタイルシート、デザイン、色づかいなどを一つひとつ教えました。また、社会人のマナーとして必要不可欠なメールや電話応対も一通り指導しました。



▲本をめくることが困難な障害のある方のために開発された Web 上の e-ラーニング用テキスト。マウス操作に変わったことで郡さんの負担も減りました。

ていないというものでした。しかし郡さんはこの評価に「自分に足りないスキルを身につけよう」という姿勢でその後独学で学習に励んだんです」と土肥さん。その結果、1年後に初級システムアドミニストレータの資格を取得。トライアル雇用では、実力を認められ、沖ワークウェルの本採用が決まりました。雇用先の沖ワークウェルは、在宅雇用について実績のある企業のため、就職後は技術面でのフォローを中心に支援を行っています。沖ワークウェルは障害のある方の特性を理解した上でさまざまな面での訓練メニューが充実しているの、「安心して見守っていただける」と土肥さんは言います。



▲障害のある方一人ひとりが自分の障害の状態に合わせさまざまな補助具を工夫して使っています。

## 長期雇用を可能にするため、 健康面にも考慮

以前から恵佼会では、車椅子で行うスポーツであるツインバスケットクラブの顧問として、メンバーの招集や、障害のある方をサポートするボランティアの依頼、大会参加へ向けた練習メニューの調整などを行っていました。「家に閉じこもっているばかりだと、どうしても体力はしだいに落ちてしまいます。そこで郡さんにも体力維持のためにも週1回ツインバスケットを行うように提案しました」と土肥さん。仕事のサポートだけでなく健康面での長期的フォローも重要な要素だと考え、障害のある方への総合的な支援を行っています。

## 企業からの客観的な評価で 本人のやる気を喚起

恵佼会では研修の成果についてより客観的な評価を得るため、在宅雇用を行っている企業に修了試験の評価を依頼しています。郡さんの制作したホームページの評価は宮崎県の障害福祉課を通じ、東京のソフトウェア開発会社、沖ワークウェルに依頼しました。「この時の評価では、残念ながら郡さんは採用のレベルには達し



通所による支援も行う恵佼会内は、障害のある方と職員がすぐコンタクトがとれるように机が配置されています。



就労支援事業では一人ひとりのレベルを指導員が把握して適切な指導をするようにしています。



作業効率を高めるため、恵佼会では障害のある方も職員も仕事の合間にはストレッチ運動を行い気分転換します。

社会福祉法人 恵校会

株式会社 沖ワークウェル

在宅雇用者 郡 智洋さん/まとめ

社会福祉法人 恵校会

株式会社 沖ワークウェル

在宅雇用者 郡 智洋さん/まとめ

企業

株式会社 沖ワークウェル

支援を受けて

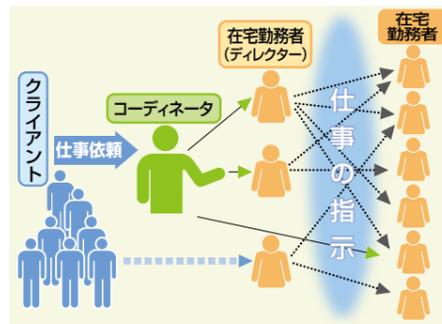
同時通話システムで  
コミュニケーションを円滑に。  
体調を考慮に入れた体制作りの工夫で  
長期雇用を実現。



取締役事業部長 津田 貴さん

複数の在宅雇用者がチームを編成、各リーダーがスケジュールリング

ホームページの制作は、在宅雇用者であるディレクターを中心に複数のプロジェクトチームごとに進められています。基本的に OKI のグループ会社から依頼を受けた沖ワークウェルのコーディネータがディレクターに指示を出し、さらにディレクターがそれぞれの在宅雇用者に指示を出してスケジュールリングと進捗管理をしています。このシステムにより各自に責任感が生まれ、能力アップによって時間給が上がるなど、在宅雇用者のやる気を高めることにつながっています。



▲常に複数のプロジェクトが同時進行。システムエンジニア、プログラマー、デザイナーがチームになって1つのホームページを制作していきます。

チーム全員が同時に会話できる通話システムで、コミュニケーションを緊密に

沖ワークウェルでは常時お互いの在席状況がモニター上で確認できるようになっています。その上で社内開発した同時音声通話システム（ワークウェルコミュニケーター）を使い、指定したメンバー全員と会話ができるようになっています。また、本社の様子がわかる Web カメラも設置して在宅雇用による孤独感や寂しさを軽減しています。年2回、コーディネータが在宅雇用者全員とスキルアップ面接を行い、スキルアップテーマとそのトレーニング方法を相談しています。



▲スピーカーに向かって話かければ、リアルタイムでプロジェクトのメンバーと話し合えるので、メールや電話と比べ時間のロスが減りました。

体調やメンタル面も配慮

体調が悪い時は無理をさせず、早期に早退や欠勤の指示を出すよう配慮しています。チームとしてフォローする体制を整えることで、在宅雇用者の毎日の体調に合わせた就労が可能になっています。精神的に不安を覚えたら、ウェブ上でメンタルの自己チェックができるようにし、早めに相談につなげるようにしています。この他年2回は社員全員が参加し、懇親会を開くなど、さまざまな面から長期に渡って勤務しやすい体制を整備しています。

Work contents

郡さんの業務内容

- 出社・退社時のメールによる挨拶文送信
- プロジェクトごとに行う同時音声通話システムでの打ち合わせ
- ホームページのプログラミング
- 日報及び週報の作成
- 外部研修への参加

郡さんの雇用状況	
雇用形態	契約社員
勤務時間	6 時間 / 日 (30 時間 / 週) ※ 残業なし
賃金	時給制 賞与あり
福利厚生	年 2 回親睦会を開催 (社員全員参加)
設置機器	会社指定のパソコンおよびブロードバンド回線
購入、設置費用	回線費用として 4,000 円、電気代 3,000 円支給
メンテナンス	保守契約に基づいたメンテナンス
消耗品の購入	必要に応じて会社で支給
雇用にあたり活用した制度	トライアル雇用制度、在宅勤務コーディネーターの配置または委嘱助成金

在宅雇用者 Interview

株式会社 沖ワークウェル 郡 智洋さん

長い間の念願だった就職を果たすことができたのは支援団体の研修と修了試験の厳しい評価のおかげです。

就職して働きたいというかねてからの願いが叶い、今は毎日充実した生活をおくっています。今思えば、恵校会の在宅ワーク支援研修と沖ワークウェルの修了試験の厳しい評価が、その後の就職へのきっかけになったと思います。仕事はワークウェルコミュニケーターなどの環境が整っていて、在宅で働く不便さは感じません。分からないことはディレクターやネットワーク上で同僚から教えてもらえるので、一人だけで仕事を進めているという感覚はあまりありません。

んね。仕事をしていると、目が疲れたりマウスを握っている手が疲れたりすることはありますが、週に1回のツインバスケットを10年間続けているおかげもあって、体力的にも自信ができました。同僚には同じ宮崎在住の人がいるのですが、プライベートでも話せる間柄になれてよかったです。

今後は難しいプログラムもこなせるようになるなど、一つでも多くのスキルを身に付け常に進化するITの世界で長く働いていきたいです。

支援関係早見表

関係者	株式会社 沖ワークウェル	他の支援団体	社会福祉法人 恵校会	郡さん
時期				
就職・雇用ニーズ	・障害者雇用を推し進めていた			・就職したいができて悩んでいた
就職前	就職相談期		在宅雇用をすすめる	相談
	トレーニング期	技術レベルを評価	研修実施 ・e-ラーニング	学習 ・ホームページ基礎
		技術レベルを評価	【宮崎福祉課】 評価を依頼	修了試験 フォローアップ ・技術指導 ・資格取得サポート
採用決定				
就職後	初期段階	トライアル雇用		就職
	現在	雇用管理 ・コーディネータによる進捗管理 ・体調に配慮した勤務	技術指導 体調管理 ・ツインバスケットを奨励	本採用 ・プロジェクトチームの一員として働く ・6時間勤務 体力向上 ・ツインバスケットに参加

まとめ

この事例におけるポイントと評価

沖ワークウェルの採用基準として、一定レベルのホームページの作成能力が条件であった。恵校会が在宅によるe-ラーニング形式を利用しながら、郡さんに対して研修を継続し、スキルを向上させたこと、さらに研修終了後に本人が自主学習を通じてスキルアップを図ったことがあいまって就職に結びついたものと考えられる。

今後の目標

郡さんが恵校会を利用した時点では、ホームページ作成に必要なソフトが十分とは言えなかった。現在はソフトを増やし、在宅ワーク支援研修の内容もフォトショップやイラストレーターの使い方など学習項目も増え、さらに充実したものとなっている。またe-ラーニングも作成当初で課題点が多かったが、研修を重ねるごとに様々な障害のある方にも対応できるようになっている。またメールの書き方、電話での対応などのビジネスマナーの指導体制についても力を入れている。専用サーバーを設け、ハード面の設備も整ってきたので、e-ラーニングやビジネスマナーの指導の充実化を図る予定である。